

ふるさと探訪

第49回 鷺森（さぎのもり）神社の楠



鷺森神社は伊予国守護職河野通盛が文和元（1352）年にこの地を埋め立て、伊勢神宮を勧請したものと伝えられています。

この時に植樹した楠に白鷺

が群棲したことから、いつしか「鷺の森」と呼ばれるようになったそうです。

かつては多数の楠により、緑の森が形成されていましたが、道路改修や台風の被害などで半減してしまいました。ご神木の楠は、高さが約25メートル、根回りは約7メートルにもなる巨木で、650年余を数える樹齢は大山祇神社に次ぐものといわれており、市の天然記念物の指定を受けています。

この神社の主な建造物は、本殿・拝殿・三穂神社社殿などで、大楠の圧倒的な存在感により、境内はおごそかな雰



囲気に包まれています。

「おかげん」の名前で親しまれてきた鷺森神社の管弦祭は、安芸厳島神社の神事になり、旧暦の6月17日に行われています。

■住所 壬生川 20

